

ヒアリング実施概要(案)

こども・若者ヒアリングの実施概要(案)

目 的	障害児入所施設で生活することで得られたこと・楽しかったこと、職員との関わりの中で感じたこと等を中心に質問することを通じて、障害児入所施設に求められる役割等に必要な要素を抽出するとともに、結果を「今後の障害児入所施設の在り方に関する検討会」(以下「検討会」)に報告することを目的とする。
対 象	障害児入所施設を利用する(利用経験のある)こども・若者、15名程度を想定する。
募集方法	検討会に参画する団体より、推薦された障害児入所施設より募集する。
ヒアリング内容	障害児入所施設の生活のなかで得られたこと・楽しかったこと、職員との関わりの中で感じたこと等を中心に質問し、また、障害児入所施設内での生活のみならず、これまでの大人との関わりの中で苦手だと感じたこと等について質問する。 【想定される質問例】 ○ これまで誰と何をすることが楽しかった・嬉しかった ○ 職員にかけられて嬉しかった言葉、職員にしてもらって嬉しかったこと ○ 安心できるか・信頼できる人はいるか ○ 職員とやってみたいこと、友達とやってみたいこと、家族とやってみたいこと ○ 大人との関わりの中で苦手だと感じたこと など
ヒアリング実施者	検討会の構成員よりファシリテーターを配置する。ファシリテーターの選定については、座長の指名とする。
ヒアリング方法	【事前準備】 ○ こども・若者が生活する障害児入所施設の職員には、事前にヒアリングの趣旨及び概要を説明する。 ○ こども・若者、同席をする者、ファシリテーター等には、事前に説明を行う機会を設け、事前の顔合わせ、当日想定している質問の説明、当日の流れについてシミュレーション等を行う。 【場所・時間】 ○ こども・若者が安心して話せるように生活している障害児入所施設内の一室で行う。 ○ こども・若者の状態や必要な配慮等によって異なるため、参加者の確定後に、実施時間や休憩等を調整する。 【ヒアリングの流れ】 ○ こども・若者の緊張感を軽減し、安心感をもって話しやすい場づくりを行うため、参加するこども・若者とファシリテーター等は、アイスブレイクの実施や、ヒアリングの実施におけるグラウンドルールの設定等を行う。 【備考】 ○ こども・若者が話しやすい環境づくりの観点から、ヒアリング及び議事は非公開とする。 ○ 当日は、こども・若者にとって信頼関係、安心が担保されている人の同席を認め、こども・若者が参加、意見のしやすい環境を整備する。(発言はこども・若者当事者のみとする) ○ ヒアリング実施後、結果概要をまとめ、事前に参加したこども・若者に許可を取った上で検討会に報告する。 ○ ヒアリング結果が報告書にどのように反映されたのか、参加したこども・若者に報告を行うものとする。